

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	入間市公共施設マネジメント事業計画 学校統合地区検討会議（西武地区）第7回会議
開 催 日 時	令和2年9月30日（水） 午後7時00分 開会・午後8時45分 閉会
開 催 場 所	西武公民館 2階 大会議室
議 長 氏 名	吉田賢紀会長
出席委員(者)氏名	入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（西武地区）委員 岩崎秋親、佐藤秀忠、島根雄樹、清水正二、鈴木憲之、田中崇司、 築地芳枝、中島克巳、長澤ゆかり、樋口秀男、平岡武、平岡芳太郎 峰崎玲子、横山勝典、吉田賢紀
欠席委員(者)氏名	關山啓二、染谷英俊、高橋和久、幡野敏彦、不破誠、宮西瞳
説明者の職氏名	総務部参事兼公共施設マネジメント推進課長 平沼宏之 総務部公共施設マネジメント推進課主査 木戸康仁
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (1) 「防災対策」に関することについて 西武中学校南側斜面について ・事務局説明 ・質疑応答 (2) 「統合時の課題」に関することについて (3) その他 4 閉 会  (公 開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	7名
配 布 資 料	・西武地区 学校統合地区検討会議について ・資料7-1 学校統合地区検討会議（西武地区）これまでの経過 ・資料7-2 西武中学校南側斜面について

関係部局職員氏名	教育部部長 新見輝明 教育部次長 片寄貴之 教育部参事兼学校教育課課長 北野晃 教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二 教育部教育総務課課長 村田雄一
事務局職員職氏名	総務部部長 高山勇 総務部次長 浅見泰志 総務部参事兼公共施設マネジメント推進課課長 平沼宏之 総務部副参事（公共施設マネジメント担当） 新屋朋徳 総務部公共施設マネジメント推進課主幹 大石浩士 総務部公共施設マネジメント推進課主査 木戸康仁 総務部公共施設マネジメント推進課主任 磯田純文
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録(2)

### 議事の概要(経過)・決定事項

1 開会(午後7:00)

2 会長挨拶

3 議事

- (1) 「防災対策」に関することについて  
西武中学校南側斜面について
  - ・事務局説明
  - ・質疑応答
- (2) 「統合時の課題」に関することについて
- (3) その他

3 閉会(午後8:45)

会議録(3)

発言者	発言内容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
委員	(1) 西武中学校南側斜面について 擁壁について、どのような方法で点検や整備が行われているのか。
事務局	具体的に業者が点検しているものではない。市が随時確認している。先日、事務局が現場に行き擁壁の確認をしたところ、劣化、ひび割れ、膨らみなどは見受けられなかった。
委員	コンクリート擁壁の耐用年数は一般的に 30 年から 50 年と言われている。第二グラウンドが整備されてから 38 年経過していると思うが、その後の更新の予定などはあるのか。
事務局	擁壁の場合、亀裂や白いカルシウム分が滲み出てきているという劣化のサインでわかるので、そういうサインが出てきた段階で調査を行い、改修の必要があるという判断になった時に対応するものと考えている。
委員	資料の写真を見た感じでは白い物が出ている気がするが、専門家が調査をしなくても大丈夫だと言えるのか。物によっては 20 年 30 年で劣化が始まるということも聞いている。
事務局	先日に事務局が確認した段階ではカルシウム分が出ている状況は見受けられなかった。
委員	専門家に入ってもらうことは不可能なのか。
事務局	現段階では亀裂は入っていないので専門家が見ても調査のしようがないと考えている。
委員	安全宣言をしてもらえれば、それで安心だと思う。

発 言 者	発 言 内 容
事務局	先ほどご説明した通り、斜面の角度が 15 度くらいの場所は、土砂災害が発生するリスクは極めて少ないということをデータが示している。
委員	亀裂などの兆候が見えた時に改めて専門家をお願いするということか。
事務局	その様に考えている。
委員	普段は誰が点検しているのか。
事務局	学校を運営する中で先生方も見ていることと思うが、市が施設の点検をする際に目視で発見するということになる。当然、耐用年数があるので市としては学校の安全性は確保しなければならないと考えている。その状況に応じて、専門家の調査も実施して劣化が進んでいるようであれば改修ということになる。
委員	台風 19 号の被害の検証によって、土砂災害警戒区域に指定されていないところでも崩れる、あるいは斜度が 30 度に達していない所でも崩れる、というのが証明されている。台風 19 号発生以前の古い時代のデータを基に「大丈夫です」と言っても 19 号の被害から目を逸らすことはできないと思う。今、日本の局地的大雨というのが年々増加していて、1 時間に 50 mm を超える大雨が 1976 年からの 10 年間では年平均で 226 回であったのが、2010 年からの 10 年間では年平均 327 回。34 年の間で 100 回、4 割増えている。また 2018 年 8 月から運用が始まった数十年に一度の大雨を表す大雨特別警報は、運用から 7 年で佐賀・沖縄では既に 3 回、福岡・長崎では既に 4 回発令されている。過去数十年間積み重ねた統計の中では数十年に 1 度起こるかどうかだったという降水量が、現在では 2 年に 1 度出現しているというような状況である。このように局地的な大雨が年々増加している中で今考えなければいけないのは、数十年後の土砂災害がどうなっているのかということだと思う。今の傾向を考えるとさらに数十年後は局地的大雨が増えているのではないかと思う。当然台風 19 号レベルの災害がまた起こると考えるべきであるし、もしかしたらそれすら上回る災害が発生するかもしれないと考えて対策をするべきではないか。台風 19 号で発生した土砂災害は 962 件でそのうち 3 割は警戒区域の指定の

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ない地方で発生している。土砂災害による死者 17 名のうち 12 名は警戒区域ではない所で被災している。前回の資料で 17 名中 10 名と説明したが 12 名に訂正する。この 2 週間後にも台風 21 号と低気圧で大雨があり、土砂災害が 190 件発生して 4 名の方が亡くなっている。これらの土砂災害による死者は 21 名だった。死者を出した土砂災害の発生箇所は 13 か所だった。この 13 か所のうち警戒区域の指定のなかったのは 9 か所、ここで亡くなった方は 16 名で 76%。この警戒区域の指定のなかった 9 か所のうち地図上、基準を満たしていなかったため実地調査の対象になっていなかったという所が 6 か所で、ここで亡くなった方が 13 名、62%だった。このように警戒区域の指定がなくてさらに 5 メートル、30 度という基準を満たしていない所で 6 割の 13 名が亡くなっている。また角度が 20 度の所でも 2 か所で 7 名の方が亡くなっている。つまり角度によってここは危険、ここは大丈夫と分けることは不可能ではないかと思う。全ての斜面に擁壁をつけていただきたいと思う。</p>
委員	<p>つまり、数値の上で完全に安全でないと言えないということよろしいか。擁壁を造ったら完全に安心になるものなのか。擁壁を造ったとしても想定外のことが起きたらやはり危険となるのではないか。</p>
委員	<p>それを言うと、現在の西武中学校の場所がどうなのかということになる。</p>
委員	<p>そうすると通学路でさえも、ここは危険かもしれないとなると何もできなくなってしまうのではないか。</p>
委員	<p>学校保健安全法第 26 条によると、学校の設置者は災害などの危険から児童生徒を守らなければいけないという規定があるので、通学路とは別に学校に対しては災害が絶対に起きないようにする必要があるのではないか。斜面について角度を基に考えると安全とは言えないので、せめて擁壁をつければ技術的には防ぐことができるのではないかと考えたものである。</p>
事務局	<p>擁壁の設置にも基準があり、埼玉県も条例で定めている。地質にもよるが角度が 35 度以上になる斜面については擁壁を設置しなければならないとされている。それ以下のものについては擁壁の設置義務はない。建物や構</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>造物を造る際には、建築基準法など様々な法律に従って進めていく。斜度の話だけになったが、西武中学校の場合は斜面から第1グラウンドや校舎までかなり距離が離れている。斜面の真下に建物を建てない限り、人災になるようなことはないと考えられる。</p>
委員	<p>雨が降った時はあの崖はどういう状態だったのか。校舎は斜面から離れているので安全であっても、グラウンドは雨によって相当な量の水が湧いてきてしまう気がする。提案になるが、やはりそういう時の状態も市で目視による確認をお願いしたい。</p>
事務局	<p>擁壁の劣化度の調査にあたっては、擁壁の表面が濡れているかどうかというのもチェックポイントになる。亀裂の後ろから水が湧き出て表面が常に濡れているかということなどを見るものである。先日確認した際には擁壁にある水抜き用の穴がしっかりと機能していて、それ以外の所で表面が湿っているなどという場所はなかった。</p>
委員	<p>自分の子どもが通う所は、実際に雨の時や台風の時などにグラウンドの状態がどうなっているのか、どのように水が湧いてくるのか、安全面はどうか見ておきたいと思った。</p>
委員	<p>市の説明である程度は安全面が証明されたので、この土砂災害警戒区域についての意見交換は今日の懇談会で終わりにしてもらえれば、今後はまた活発な意見交換が進められると思う。</p>
委員	<p>この資料は十分納得できるデータだと思った。これだけしっかりと調べていただくのはかなりお手数だったと思う。今後、学校を建替える時に設計をする上で様々な検討していくということなので、このことに関しては適宜検討課題に入れていただければと思う。</p>
委員	<p>参考までに、西武中学校の第2グラウンドの上の山の所有者というのはどこなのか。市なのか。</p>
事務局	<p>南側の擁壁の少し上にフェンスがある。そのフェンスまでが市で、フェン</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>スから南側は民有地である。</p> <p>境の所にフェンスがかかっているが、フェンスが境目ではなくフェンスから 2~3mくらい奥に入ったところが区切りである。今まで前堀川が大雨で溢れたというのは擁壁ができてから見たことがないので、これだけの資料があって安全だということのだから大丈夫だと思う。ただ災害だからいつどうなるかというのは分からないが、完全ではないにしろ証明されているので、委員が言うようにこれは安全だと考えて、そろそろ次の段階に進んでもよいのではないかと思う。</p>
委員	<p>土砂災害警戒区域に関しては、委員の皆さんもそれぞれ認識があると思うが、今回の資料で西武中学校南側斜面に関する県の調査の状況やこの場所の土砂災害警戒区域に指定されなかった経緯、また市の検証の内容についてはご理解いただけたと思う。西武中学校南側斜面と土砂災害警戒区域の関連についての意見交換は、これをもって終わらせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>(2) 「統合時の課題に関すること」について</p> <p>前回までの会議で 2 つのテーマで意見交換を始めたところだった。1 つ目は 2029 年度に統合するという時期について。2 つ目は西武中学校を運営しながら校舎を建替えることについて、というものである。以前、意見書として提出していただいた「遅い」「早い」「適当」という 3 通りの意見は前回に資料 6-4 として配布された。これを踏まえて、まず 1 つ目の 2029 年という時期について委員はどのように考えているのか、意見交換を行う上で統合の進め方や進めていく上での課題を整理したい。生徒の環境向上や地域の合意、通学路に関する安全性の確保など、どの点も大切ではあるが、どれをメインとして検討を進めるのか考え方をまとめたい。</p>
委員	<p>統合の時期は、やはりなるべく遅い 10 年後がいいと考える。説明会の時に様々な意見をもっていった人達が沢山いた。野田中学校を残したいという人が多いように思う。</p>



発 言 者	発 言 内 容
委員	10年後の2029年だと、今の小学生の保護者の方々か。
委員	小さいお子さんを持つ親御さん達が様々な意見を持っているという点で、なるべく遅くした方がいいと思う。
委員	今回の統合する時期についてという課題は、移転をする時期とは別ということでよいのか確認したい。2つ目の西武中学校を運営しながら校舎を建替えることについて、という課題も提示されているが、2つの中学校を1つに統合する時期が早いか遅いか、という問題なのではないかと思う。
委員	前回の会議で意見があった「先に野田中学校に統合してその間に西武中学校を建替えた後に西武中学校に移転する」という考えだと、統合ができるのは3～5年後であったかと思う。
委員	いくつか絡み合っている問題を一遍に議論すると恐らく様々な意見が出てきてしまう。まずは学校を統合する時期ということを考えた方がいいのではないか。統合する時期を検討するに当たって優先すべきことは何か。私は生徒達の学校生活などの優先順位が高いと思う。もう一つ、地域の事情などは取り払い、仏子と野田・新光の両地区に住む生徒達をすべて公平な目で見るとして統合する時期がこれでいいのかという議論をすべきではないか。
委員	仏子地区の方々からは、今は部活も少ないため子ども達になるべく早く多くの人で授業や部活をさせてあげたいという意見をよく聞く。先にまず統合をすべきではないか。
委員	将来の野田中学校と西武中学校の生徒にしても、統合することによって生徒が増えて子ども同士の触れ合いが増えるのではないか。少なくとも学校は勉強するためだけのものではなく、学校の中でどれだけ多くの人間達と触れ合うかというところがすごく大事と思う。私は生徒達のことを考えると統合する時期は一刻も早くするべきだと思う。「遅い」「早い」「適当」の中には大人の意見が色々入っているが、一番優先すべきは生徒達のことではないかと思う。その中で、例えば通学手段、通学路の問題、災害

発 言 者	発 言 内 容
委員	時の子どもたちの安全は確保されるのかという意見はあったが、後から対策を打てるものに関しては、その時に対策を打てばいいのではないか。
事務局	市の計画は10年後で考えているということで間違いはないか。
委員	その通りである。
委員	計画の原案ではこの統合の事案が出た時は3年後ということであった。それを市が各地区で説明をしていく中で、それでは早すぎるから先に延ばしてほしいという意見で延びたのであって、その間に通学路の問題やそれに関する色々な統合についての問題点をつぶしていこうということが皆さんの意見ではなかったか。2029年の統合の時期は理想だと思う。
委員	2029年の統合というタイミングは決して遅くはないと感じていた。子ども達のことを思うと、多くの集団の中で揉まれるというのはすごく価値があると思うため、早めなくて良いのかなというのが今の気持ちである。この検討会議に参加する前の状況として、「野田中学校と西武中学校が統合するらしい」「場所は西武中学校らしい」ということを初めて知ったのは、平成31年1月に小学校の保護者から聞いたからである。関心度が高くない多くの人たちというのは、恐らくそこで「大変なことになった」というような認識でスタートしていると思う。私も同様に、1月26日に開催された説明会に出席し「3年後に統合するなんて寝耳に水で賛成できない」という意見を述べた1人である。しかし実際にこの会議に一委員として出席する中で、やはり統合は必要だと知った。西武中学校か野田中学校かと考える中で、どちらの学校を選んでもどちらかの生徒には通う難しさが出てきてしまうので、難しさを取り払うような話し合いになったらいいのかなと思う。「自分は新光に住んでいるから野田中学校がいい」ということではなく、そういう話し合いができれば良いと感じる。どうやって地域の方にお知らせしていくのがすごく難しいのではないかなと思う。以前の私のように突然情報が飛び込んできて驚きを感じる人は今でも沢山いると思う。タイミングとお知らせの進め方が大事だと思う。
委員	安全協会の立場からすると課題となるのは通学路の整備である。それが済

発 言 者	発 言 内 容
	<p>まないうちに、統合する時期を決めてよいのだろうかと思う。2029年の春に西武中学校に統合する場合、その時の3年生は新しい仲間との交流が1年間だけとなるが、それだと短すぎるし思い出もできない。そういう生徒は1、2年生の間は野田中学校に通い、最後の3年生の時は建替えが済んだ西武中学校で1年を過ごすようにできるといいと思う。どちらにしても移動するので、通学路が整備できないのに2029年と決めてしまってよいのかなと思う。</p>
委員	<p>どちらかという早いのではないかということか。</p>
委員	<p>早いというより2029年に統合するというのなら、通学路などの整備を来年からでも急いで始めてもらいたいと思う。</p>
委員	<p>中学校は3年間である。その間に、3年生はどちらの学校へ行くとか、統合することが分かっているからどう動くかということか。</p>
委員	<p>市の計画通りに2029年に西武中学校の場所で統合する場合、その時の3年生は野田中学校で1年生、2年生を過ごし、3年生を西武中学校で迎える。そうすると西武中学校と一緒に顔を合わせるのが3年生の1年間だけになってしまう。1年経つともう卒業となってしまうと思いができない。そういう子たちは最低でも2年間は野田中学校の方に通うようにした方がいいのかなと思った。</p>
委員	<p>そのようにするのは可能であるのか。教育委員会にお聞きしたい。</p>
関係部局	<p>どのようなスケジュールで統合の最終年度にどういった学年が最後まで学校に残るかということは、今後の検討課題であると認識している。今の時点では具体的に決まっていない。</p>
委員	<p>そうした場合、検討すれば様々なパターンがとれると考えてよいのか。今後こうでなければならないということではなく、検討して教育委員会でこうすることができると思えばそれが実現するのか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関係部局	いくつかの選択肢があると考えている。その中でどのような形が子ども達や教職員にとってよいのかということ併せて検討していくことができればと思っている。
委員	統合と移転が別々な考えが進んでいるが、市の計画は統合と移転は同時期にするということではないのか。
事務局	市の計画としては 2026 年、2027 年、2028 年に西武中学校を建替え、2029 年度の 4 月から一緒になるという考えである。統合の進め方というのはいくつかの選択肢があると考えており、今後検討していく。
委員	居ながらの工事の期間が 3 年間とされているが、例えば西武中学校を工事している間は生徒を西武中学校に通学させず、その前に野田中学校に統合し西武中学校の生徒達も仏子から通学するようにして、西武中学校は生徒がいない所で工事を進め、完成したら移転することは可能なのか。統合を早めに行うことは物理的な問題も出てくる気がする。以前の資料では、西武中学校の生徒は 2029 年でもそれほど減らないが野田中学校の生徒は若干減っていく見込みであった。生徒の活動を考えると、西武中学校は運動会を学級対抗でできないので一学級を 2 チームに分けているが、野田中学校と一緒にすれば人数が増えるので子ども達の活動はある程度活発になると思う。そう考えると早めに統合したい。場所は仮住まいとして野田中学校とし、空き教室もあると思うので可能であればそこを使用する。西武中学校は工事を進めて完成したら西武中学校に移転する。そういう考え方が可能であれば理屈としてはいいと思うが、理屈通りに物事はいかない。仏子の子達が野田中学校へ通学する上での問題もある。しかし通学路の工事が完璧に終わってから統合を考えると相当長期になるので難しいと思う。統合と移転は一緒という計画ではあるが、別々に考えられるかというような意見が相当出ていたのでこのように考えた。
委員	次の議題に関連するが、西武中学校を居ながらで建替えるということが危ないのではないかという意見があれば、できれば西武中学校は誰もいない時に工事を進めてほしいということよろしいか。

発 言 者	発 言 内 容
委員	危ないかどうかは工事のやり方であり、今まで武蔵中学校も居ながらも工事している。危ないという意見もゼロではないと思う。
委員	居ながらにして工事を行ったという資料も事務局に出していただいたので、そういったことについての問題点はないと思う。そういう議論も確かにあるが、それより先の話の方がいいと思う。
委員	他に時期のことなど意見はあるか。
委員	私はこの取り組みに3年参加しているが、1日でも早く一旦西武中学校の子を野田中学校に統合して、西武中学校に生徒がいない時期に建替えをしてもらいたいと望んでいる。通学路の安全の確保など問題はあるがそれとは別のメリットが、部活動の選択肢や集団生活で学ぶべきことなど色々あると思う。1クラス40名以上学年にいないと2クラスになれないのか。
関係部局	現在の基準では1クラス40名が最高である。
委員	そういう決まりがある。実際、現在の西武中学校の3年生は1クラスである。仏子小学校は4年生と3年生が1クラス、今年入学した1年生も42～43名なので最終的にはまた1クラス編成になる可能性もある。一部の保護者の意見として、万が一いじめが発生した時にクラス替えができるという選択が無くて子どもが耐えられるかどうか、実際いじめは起きていないが将来そういったことが起きた時に先生に相談してもクラスを変えることはできないと心配している親御さんもいるので、少しでも早く統合をして一学年3～4クラス、今の時期にもし統合すれば5クラス位になるかと思うが、そのように学年に生徒が大勢いるような学校に行かせてあげたいという考えをお持ちの親御さんもいる。私も仏子小学校で1クラスになっていくのは淋しいので少しでも生徒数の多い学校に行かせてあげたいという気持ちが強い。
委員	統合するのであれば早くしたい、又は、今の計画の通りのままでよいのではないか、という2つの意見があったかと思う。西武中学校を運営しながら工事ができるということは委員も理解されていると思うが、2つの学校

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>が一緒になる統合の時期はどちらがいいのか、というやはり意見が分かれる。</p> <p>居ながらで建替え工事ができるという前提で考えてしまうと、わざわざ引越しをしなくてもいいのではないかと考えてしまうが、例えば敷地がなくて居ながらで建替え工事ができないと考えた場合には、結果的に西武中学校の生徒達は他に移らなければいけない。もう統合するという話になっているので、「一旦建替え工事をします」「生徒達を移します」という形で地区の方々に説明した方が「そうした場合、西武中学校が新しくできたら今度は野田中学校がそちらに引っ越すのだね」と一目瞭然でわかりやすいような気もする。「西武中学校は工事するので一旦皆さん移ってください」「野田中学校に一旦統合しましょう」「西武中学校が完成したら戻って来ましょう」という形の方が地域の皆様がわかりやすいのかなと思う。</p>
委員	<p>本日欠席の委員から書面で意見をいただいているので紹介する。「居ながらで建替えると、工事車両の出入りやアスベストの飛散など生徒に対する懸念するべきことがあるのではないかと。一度、野田中学校の方に生徒を移してから施工する方がいいのではないかと。」という意見であった。</p>
委員	<p>市の方に質問したい。元々は2022年に統合という話であったのか。</p>
事務局	<p>原案の段階で2022年度としていた。</p>
委員	<p>元々の考え方では3年後にはもう統合しているわけであった。例えば2022年に統合という状況だった場合、現在はもう建替え工事が始まっていたのか。結局2029年という計画に変わっても元々あった計画がベースに考えられているのかなと思った。元々決まっていたことがあれば教えていただいた方が参考になると思った。</p>
事務局	<p>原案をお示ししたときには詳細な計画が決まっていたわけではないが、その段階では2021年で改修工事をして2022年に統合というようなイメージであった。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	生徒がいる状態で工事を進める予定であったのか。
事務局	その通りである。
委員	2029 年に統合するという計画となってもそのような予定であったのか。また今は色々な意見が出てきているが。
事務局	当時も居ながらという考え方で予定されていた。仮設校舎というような部分も含んでということにはなる。
委員	2029 年の統合予定では建替えは 2026 年から始まるとのことだが、2020 年～2025 年は何をやる予定であるのか。例えばそこで中学校の整備が決まればまたその 5 年間で討論会をやっていくのか。この 5 年間をもう少し前倒しにできれば統合も前倒しにできるのではないかと。部活動や子どものことを考えて、自分はアンケートに「遅い」と書いた。統合するのであればなるべく早くしてあげたいと思っている。
事務局	当時、原案として 2022 年という統合計画をお示しし、西武地区に限らず各地域で市民の方への説明会を行った中で様々なご意見をいただき、最終的に今の計画になった。2020 年～2023 年までを地域の方々と意見交換を行い、統合までの道筋を皆さんと共通の意識を持たせていただいて、市としてそれを基に統合を進めていきたいと考えている。道路や安全面について詳細なことは計画の中に定めていないので、様々なご意見をいただいた中で、市としてできるものや教育委員会として考えられることを詰めていくことも含めた話し合いの期間ととらえている。
委員	統合時の課題ということだが、ここで話し合っているのは建替えての統合ということではないか。この会議に参加し、子ども達のやりたい部活動ができないなどの話を聞くと 1 年でも早く統合してあげた方がいいと考える。校舎建替え後の統合と考えるのであれば、2027 年度に 1 年生になる生徒は全員が西武中学校に通学すればよいのではないかと。最短で何年後位に統合できるのか見込みはどのようなものだろうか。部活動のことを考えるなら 3～4 年後の統合もよいのではないかと。思う。

発 言 者	発 言 内 容
委員	ポイントは統合されるまでの間の西武中学校の生徒さん達のことになる。
委員	西武中学校に通いながら建替えるという話も、西武中学校には通わず全員が野田中学校に通って、生徒が誰もいない状態で工事をすると工事費が安く済むとか期間が早まるとか、それが分かっているなら知りたい。
委員	誰もいない方が、単純に考えれば工事費は安くなると考える。
委員	工事費が安く済めば他の経費にまわせる。この辺りは 50 年近く道路の歩道が広がっていない。昔はこの道を普通に西武中学校まで通っていた。ただバスは通っていなかったのも、そういう面で多少は違うが道幅に大きな違いはない。気を付けていけば通学路の問題はさほど影響ない気がする。
委員	同感である。当時の生徒の方が人数はものすごく多かったが今は生徒が減少している。交通安全上の問題が多いというような話がよく出るが全くピンとこない。ただ交通安全の問題を軽視していいかということではない。対策はすべきだろうと思う。
委員	通学路の問題で 30 年前と状況が違うのは自転車の通学である。西武中学校の場合は、通学時間が 15 分から長くて 30 分位であると考え。朝は車道が危ないからといって自転車で狭い歩道を走る人がいる。時間が重なるとその自転車が多くなると考える。
委員	検討するにあたって通学の問題は別で議論した方が良く考える。今は時期についての話なので、何を軸にして考えるのか、ということとはまとめられるのではないかと。
委員	もし市の計画より早く野田中学校に統合することが可能であれば、これから西武中学校で 2029 年まで少ない人数でやっていかなければならない生徒達を助けることになるかもしれない。
委員	2 つ目のテーマである運営しながら校舎を建替えるということは一旦考えるのをやめて、統合する時期を早くした方がいいのか遅くした方がいいのか



発 言 者	発 言 内 容
	かだけをシンプルに考えた方がいい。
委員	委員の意見は、計画のままでいいのではないかという意見と、早められるなら早くしたいという意見の概ね2通りが出ている。
委員	それは考え方の軸の問題によると思う。生徒達の学校生活を最優先に考えるべきではないかと思う。
委員	統合と移動を一緒にするか分離するかということではないか。
委員	今の段階では、分けて考えないと一つ一つ結論が出ていかない。委員それぞれの考えがあるのだから、時期のことについて考えるのなら時期のことだけ考えた方がいいということである。
委員	理由があるから早くしたり遅くしたりするのではないか。統合そのものだけを早いか遅いかということに絞るのは少し難しいのではないか。何もなければこの 2029 年度という市の計画の通りであり、不都合があるから早めよう遅らせようという議論になっていると思う。
委員	今意見として出ているのは、市の計画では少し遅いので生徒達を助けるために早く統合できないかということである。早くすることにどのような問題があるかということを議論しているのではないか。
委員	生徒の活動等が少ないから一緒にした方がいいということである。
委員	統合を早めれば生徒達を助けられるのではないかという意見に対して、何か問題はあるか。
委員	問題はないと思うが、やはり今まで検討してきた皆さんの意見をまとめて考えると、安全など色々な面があるから少しでも延ばしてほしいという話だった。その辺が解消されるならば一日でも早く統合した方がきっと子ども達のためになるのではないかと思う。

発 言 者	発 言 内 容
委員	生徒達のことを考えて、時期を早めて一旦野田中学校に統合しようということを検討する場合、教育委員会としては何か問題はあるか。
関係部局	野田中学校に一回移転して統合することについては、慎重に考える必要があると思う。まず実際に教室が足りるかという施設設備の問題がある。また、野田中学校に移動して西武中学校に戻るという2度引越しをすることになる。同じ生徒と教職員が2度引っ越しをすることにはならないと思うが、2度大きな環境の変化を伴うことの影響を考える必要がある。この他、通学路の通学上の課題、前倒しとなるので予算など財政的な問題もある。更に今は気がつかないその他の課題もあると考える。ここで今、結論となることを申し上げられないが、特に子ども達にとって通学路が変わることや人間関係が変わるなどの環境の変化というのは大きいと思うので、慎重に考えた方がいいと思う。
委員	生徒達の為だと言いながらも、それが必ずしもプラスになるとは限らないということではよろしいか。
関係部局	その通りである。部活動や行事の盛り上がりには欠けるところがあるというようなことは校長からの聞き取りが出ており、確かにそういう面はあると思う。実際に西武中学校でやりたい部活動がないために他校へ転校するという事例もあり、この会議でもそのようなお話しが出ていたと思う。そういう面が早めに軽減されるというメリットはあると思う。私が先ほど申し上げたことについて教育部、財政当局等と研究しながら進めていく必要がある。教室数が足りるのかというところが一番気になるところである。
委員	足りるという話でこれまで3年間くらい話を進めてきたのではないか。
委員	以前に市から出していただいた資料だと、野田中学校でギリギリ足りるのではないかという数字だった。
委員	現在、中学生は部活をやっている子もいるが帰宅する子も結構いると思う。教育委員会で把握しているか。部活を基に議論するのもどうなのか。今の社会は人間関係も分からない。子ども達も多様化している。交通の面

発 言 者	発 言 内 容
	<p>も色々考えていかないといけないし自転車も増えている。様々な面があるのでもう少し時間をおいてゆっくり考えた方がよいと思う。学校は更地にしてきちんと建て直し、学級は一部で意見があるような 20 人学級を目指して計画してもらいたい。</p>
委員	<p>教育委員会でまず検討していただくしかない。</p>
委員	<p>今の段階では、この場で結論は出せない。一回野田中学校に行ってから統合という話が出たので、実際、教育委員会と市で教室の数や生徒達の人数など数字の検討をしていただきたい。以前の資料では野田中学校で足りていた気もするので、メリットとデメリットを出していただけたらと思う。</p>
委員	<p>先ほど 2029 年 4 月に新しい学校をスタートさせる計画であるとの説明があった。そこまで猶予がある。計画を進めていく上でメリット・デメリットは必ずつきものだと思う。1 回野田中学校に西武中学校の生徒が動いて、その間に西武中学校の工事を立ち上げる。まず建物がなかったらこの話は尽きない。建物が完全にできる期間だけでも仮統合し、校舎ができ上がった段階でスムーズに移るといのように道筋をつけないといつまでも堂々巡りではないか。以前に、野田中学校の教室数が足りる計算であるとの説明があったと認識している。まず 2029 年 4 月に新しい学校をスタートしたいという市の計画を基に逆算していけばいいものができるのではないか。野田中学校に西武中学校の生徒が動いた方が経費も安く済み、安全も確保できると考える。2029 年度 4 月に私どもの考えが少しでも役立つような意見をまとめていただきたい。</p>
委員	<p>先ほど、統合の時期は遅くはないと発言した。子ども達のことを思えば一刻も早い方がいいが、なぜいいタイミングが未だ得られないかということだと思う。今如何にして地域の方達からの賛同を得ていくのかということだと思う。今現在なら賛同できるが、初めて話を聞いた時には、3 年後では早いと思った。この件に深く関わっておらず、しっかり思考していなかったためだと思う。恐らく皆そう感じるのではないか。地域の方々に「早くない」と思わせるために知恵を絞るべきなのではないか。地域の方々がこの話し合いの途中経過を知るといことはあるのか。検討会議に参加している人は議論</p>

